

令和3年度の実績

使途別	事業概要	事業効果
豊かな自然と生活が共存するまちづくり事業	森林の持つ公益的機能の発揮に資するため、町有林(町が所有、管理している森林)の適正な管理を実施する。	(管理) 境界管理 35.2ha (整備) 下刈 1.57ha 間伐 9.22ha 主伐 0.14ha
	吉野川水系の流域である本川地区について、森林の持つ水源涵養機能の高度発揮の促進を目的とした事業を実施する。	保育間伐 13.58ha 搬出間伐 10.50ha 森林作業道 開設 1,020m 路面整備 6,000m 除草 7,478m
	木材需要の多様化や増大に対応する安定的な木材供給体制を支援し、皆伐を通じた森林資源の循環利用を目的とする事業を実施する。	再造林 35.50ha
	林業の活性化を図るため、林業従事者の確保とともに町内への移住・定住を促進する事業を実施する。	対象者 1名
	健全な森林を積極的に造成し、森林の多面的機能の持続可能な発揮を図るために必要な事業を実施する。	森林作業道 2,405m 再造林 45.20ha 鹿群集防止 ネット 5,882m チューブ 0.2ha 下刈り 25.18ha
	観光目的など町内外から多数の利用がある波川公園の適正な管理を目的として、仮設トイレの設置、草刈り・清掃などの委託事業を実施する。	(仮設トイレ設置) 設置期間:R3.7.1~R3.9.30 基数:4基 ※手洗いシンク別途1基 (草刈り・清掃) 期間:R3.4.1~R4.3.31
子どもたちを守り育てる事業	皆様からの寄付金の一部を「くりぐらひろば」の運営や子育てに関する講習の開催等に活用させていただきました。いの町地域子育て支援センター「くりぐらひろば」は、子どもたちの育ちを支援するとともに、妊婦さんや子育て中の親子を見守り、地域全体で子育てを支援する基盤や環境を作ることとした親子の集いの広場です。	コロナ禍でも安心して利用していただけるように、感染対策を工夫しながら、親子に寄り添う日常的な支援を行いました。また、医師や助産師等の専門家による子育てに関する講習の実施や、子育てサークル、ボランティアの育成・支援を行い、親子間、保護者間の関係性も深まり、来所者が安心して過ごせる場となっています。R3年度は延べ5,815名(2,501組)の方に利用していただくことができました。
	いの町には公立の幼稚園が1園、保育所が5園、幼保連携型認定こども園が2園あります。公立園の運営に必要な会計年度任用職員の雇用等に活用させていただきました。	保育士の配置基準を適正に満たし、支援が必要な子どもに加配保育士を配置することができました。今後も、子どもたちが安心して成長できる、質の高い教育・保育の提供を目指します。
	令和3年9月に開設した病後児保育室「そらいろ」は、保護者の就労と子育ての両立支援を目的に、病気の回復期のお子さんを、保育園等での集団生活が困難な期間お預かりし、保育を行う施設です。「そらいろ」で保育を担当する看護師、保育士の雇用等に活用させていただきました。	令和3年度は、9月からの7か月間で延べ8名にご利用いただき、利用者様からは、「仕事を何日も休むことができないので助かりました」「まだ食欲がなく、食べられるものを持参できたので良かったです」といったお声をいただきました。
元気いっぱいいの町をつくる事業	観光協会の運営や観光振興に資する活動に活用させていただきました。	イベント開催やSNS等での観光情報発信、オリジナルグッズの企画・販売などを行い、町内外へ広くい町をPRをPRすることができました。
	「仁淀ブルー」で知られる仁淀川にいの町産の不織布を使ったこいのぼりが流れる「紙のこいのぼり」のイベントは、ゴールデンウィークの風物詩となっており、毎年多くの人が訪れます。令和3年度もイベントは中止となりましたが、高知市内や町内商店街で代替イベントを開催し、多くの方にいの町をPRするために活用させていただきました。	代替イベントとしての町商店街周辺で「こいのぼりスタンプラリー」、高知市内で「いの町フェア」を開催し、「紙のこいのぼり」を契機として県内外の多くの方々にいの町を知っていただくことができました。
	7月に公開された映画「竜とそばかすの姫」の舞台として、いの町内の複数箇所のスポットが登場しています。この映画コンテンツを活用し、いの町のPRや周遊促進、地域振興に資する活動に活用させていただきました。	映画素材を活用した和紙ポスター展示やオリジナル紙漣体験、ノベルティの制作に取り組み、町内施設の利用促進につながりました。また、名刺や観光案内MAPにも映画素材を活用し、映画を契機としたいの町の周知活動と周遊促進を図ることができました。
	紙の博物館販売コーナーにおいて、お客様により和紙に親しんでいただけるような、魅力のある場所作りの目的で活用させていただきました。	①商品陳列のレイアウトの見直しにより、お客様が目的の商品を見つけやすくなりました。 ②土佐和紙商品の説明・用途等をPOP表示することで、具体的な活用の提案ができるようになりました。 ③季節に応じた特設コーナーを設置することで、何度でも訪れたいコーナー作りができるようになりました。
	移住に関する相談員を設置し、移住希望者の相談対応、空き家バンク運営やホームページ、移住相談会参加等による情報発信、住宅改修補助など、いの町への移住促進を図る。	魅力あるいの町に移り住んでいただき、少子化対策や人口減少対策への貢献、地域の活性化に努めていただいています。令和3年度県外からの移住者:9世帯23人
	図書館の運営に関し、資料の充実や施設設備の維持管理、移動図書館バスの運行など、町民の読書環境を充実するために寄附金を活用させていただきました。	[R3]図書館運営 あらゆる年代の町民を対象に、調査・研究に役立つ図書や読書を楽しむための図書を収集し、安心安全な施設と全域サービスを提供することができました。
	いの町体育会は、いの町におけるスポーツの普及・振興を図り、住民の健康を増進するとともに、各種大会や活動を通じて、明るく豊かで活力に満ちた地域社会の形成や、世代間を超えた健康づくりを目的とした、いの町のスポーツ団体です。皆様からの寄付金の一部を「いの町体育会」へ補助し、団体の運営費や各部の活動費等に活用させていただきました。	[R3] 各部(陸上・軟式野球・ソフトボール・バレーボール・相撲・剣道・バスケットボール・卓球・バドミントン・なぎなた・スカッシュバレー・テニス・エアロビクス・グラウンドゴルフ・ペタンク・ラージボール)の活動を充実させるとともに、各種大会や活動を通じて生涯スポーツ活動の振興が図られ、また、町民の方々の健康づくりにもつながりました。
	いの町の指定文化財に登録されている「白花センダン」の樹勢が衰えてきたため、樹勢回復作業を実施しました。	地域に親しまれている「白花センダン」は樹齢150年以上の古木であり、樹勢回復作業の効果は直ちには現れていないが、樹勢回復作業を行うことにより、貴重な文化財を未来に継承することができました。
	住み慣れた地域で活動を続けていくために、町内会活動等を行う集会所の改修や、地区の有線放送設備の修繕に活用させていただきました。	6件の地区でこの補助金を活用し集会所の老朽化したエアコンの取替や雨戸の改修等を行いました。また4件のアンプ・スピーカーの取替を行い、放送が聞こえやすくなったことで感謝の声も届いております。